

2. 札幌における震度4以上の地震

発震年月日（西暦）	震央・発震時間	規模 マグニチュード	摘要
明治18年7月10日（1885年）	不詳	-	札幌で強震（03時10分） 函館で軽震または強震（03時09分） 03時24分に根室で有感
明治19年2月5日（1886年）	不詳	-	札幌で強震（04時52分）
明治21年2月24日（1888年）	不詳	-	札幌で強震（01時53分）
明治27年3月22日（1894年）	根室沖 42.4°N, 146.3°E 19時23分	M7.9	根室で烈震 釧路、根室管内で死者1人、全壊11棟、半壊17棟、根室市街で道路60～90cm さける被害あり。
昭和7年11月26日（1932年）	新冠川河口 42.4°N, 142.4°E 02時31分	M6.8	浦河、静内などで震度5、日高支庁管内で器物の破損、壁の脱落等の被害あり。
昭和27年3月4日（1952年）	十勝沖 42.2°N, 143.9°E 10時23分	M8.1	浦河、釧路で震度5、苫小牧・厚岸などで震度4。被害は、死者28人、行方不明5人、負傷者295人、家屋被害1,332棟 札幌市内では、家屋一部破損1棟、煙突損壊4棟発生した。
昭和33年11月7日（1958年）	エトロフ沖 43.5°N, 148.5°E 07時58分	M8.1	釧路で震度5、根室で震度4、根室管内で電話障害27件、花咲湾岸壁にヒビ割れなど。
昭和43年5月16日（1968年）	十勝沖 40.9°N, 143.7°E 09時49分	M7.8	広尾、浦河、苫小牧、室蘭、函館、青森で震度5。釧路、帯広、小樽、弘前、秋田、郡山などで震度4 道内の被害は死者2人、重傷者23人、軽傷者110人、全壊110棟、半壊405棟など被害金額4,439,940千円 札幌市内では、重傷者1人、軽傷者4人、半壊11棟、一部破損123棟、道路橋梁3カ所、農業被害6件、衛生施設91件、文教施設28件、団地被害3地区、被害金額56,476千円 北大の調査では市の北東地域で震度5
昭和57年3月21日（1982年）	浦河沖 42.1°N, 142.6°E 11時32分	M7.1	浦河で震度6、帯広、広尾、苫小牧、小樽、岩見沢などで震度4 道内の被害は重傷者22人、軽傷者145人、全壊13棟、半壊28棟、一部破損675棟など被害金額は10,360,765千円 札幌市内では、重傷者2人、軽傷者15人、全壊1棟、一部破損22棟、道路橋梁16カ所、文教施設53件などで被害金額は99,178千円 北大と共同で実施した調査の結果、東区雁来、白石区東米里、北郷地区では震度5
平成15年9月26日（2003年）	釧路沖 41.47°N, 144.05°E 4時50分頃 十勝沖 41.42°N, 143.42°E 6時8分頃	M8.0 (本震) M7.1 (最大余震)	十勝地方で最大震度6弱の地震が二度発生した。本震では、浦河町、新冠町などで震度6弱、帯広市、釧路市などで震度5強、最大余震では浦河町が震度6弱、新冠町で震度5強 道内の被害は、行方不明者2名、重傷者68名、軽傷者779名、全壊116棟、半壊368棟、一部破損1,580棟など。 札幌市内では、軽傷者8名、一部破損64棟、道路損壊10カ所、文教施設60件などで被害金額は、159,757千円 札幌市は2度とも震度4（気象台）であった。